

# 令和2年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	埼玉県		市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分		令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分		令和2年度(千円・%)	令和元年度(千円・%)							
						財政健全化等	×	歳入総額	44,169,376			33,215,724	実質収支比率			7.9	6.1					
市町村名	東松山市		地方交付税種地	1-4	財源超過	×	歳出総額	42,627,081	31,971,557	経常収支比率	94.1	96.4										
					首都	○	歳入歳出差引	1,542,295	1,244,167	(※1)	(99.9)	(101.8)										
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	89,357	165,206	標準財政規模	18,351,734	17,732,909										
					中部	×	実質収支	1,452,938	1,078,961	財政力指数	0.88	0.88										
人口	令和2年国調(人)	91,791	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	373,977	-13,617	公債費負担比率	10.4	10.5										
	平成27年国調(人)	91,437			過疎	×	積立金	1,400,389	1,290,637	健全化判断比率												
	増減率(%)	0.4			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-										
住民基本台帳人口(※7)	令和03.01.01(人)	90,456	第1次	平成27年国調	712	794	低開発	×	積立金取崩し額	1,041,400	1,335,200	連結実質赤字比率	-	-								
	うち日本人(人)	87,726		1.7	1.9	指数表選定	○	実質単年度収支	732,966	-58,180	実質公債費比率	2.8	3.0									
	令和02.01.01(人)	90,348	第2次						基準財政収入額	12,200,682	11,845,993	資金不足比率(※4)										
	うち日本人(人)	87,805		12.101	12.541					基準財政需要額	13,960,398	13,443,717										
	増減率(%)	0.1		29.3	30.2					標準税収入額等	15,524,633	15,185,887										
	うち日本人(%)	-0.1	第3次	28,479	28,151					経常経費充当一般財源等	17,270,134	17,292,603										
面積(km <sup>2</sup> )	65.35	69.0		67.9					歳入一般財源等	22,914,404	22,450,683											
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	1,405																					
世帯数(世帯)	39,797																					
職員の状況																						
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	27,958,957	26,961,481	うち公的資金	19,271,410	19,220,086								
	市区町村長	1	9,040		一般職員	504	1,541,232	3,058	債務負担行為額(支出予定額)	4,746,550	3,968,659	収益事業収入	50,000	50,000								
	副市区町村長	1	7,470		うち消防職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-	財政調整基金	1,802,482	1,443,493								
	教育長	1	6,890		うち技能労務職員	25	82,350	3,294	積立金現在高	201,306	201,304	減債基金	201,306	201,304								
	議会議長	1	4,700		教育公務員	8	30,216	3,777	その他特定目的基金	1,354,907	1,354,711											
	議会副議長	1	4,170		臨時職員	-	-	-														
	議会議員	19	4,020		合計	512	1,571,448	3,069														
					ラスバイレ指数			98.6														
	一般会計等の一覧																					
	項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧		項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧		項番	団体名
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	病院事業会計	(8)	高坂駅東口第一土地区画整理事業特別会計	(9)	埼玉県後期高齢医療圏医療広域連合	(17)	東松山文化まちづくり公社											
		(3)	介護保険特別会計	(6)	水道事業会計			(10)	埼玉県後期高齢医療圏医療広域連合	(18)	東松山市農業公社											
		(4)	後期高齢者医療特別会計	(7)	下水道事業会計			(11)	埼玉県市町村総合事務組合													
								(12)	埼玉県市町村総合事務組合													
								(13)	彩の国さいたまづくり広域連合													
								(14)	埼玉県都市競艇組合													
								(15)	比企広域市町村圏組合													
								(16)	比企広域市町村圏組合													

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、令和元年度は「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を、令和2年度は「減収補償(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	13,370,361	30.3	12,739,621	73.7	普通税	12,739,621	95.3
地方譲与税	275,470	0.6	275,470	1.6	法定普通税	12,739,621	95.3
利子割交付金	9,226	0.0	9,226	0.1	市町村民税	5,845,608	43.7
配当割交付金	48,800	0.1	48,800	0.3	個人均等割	166,072	1.2
株式等譲渡所得割交付金	58,387	0.1	58,387	0.3	所得割	4,841,608	36.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	267,584	2.0
地方消費税交付金	1,939,273	4.4	1,939,273	11.2	法人税割	570,344	4.3
ゴルフ場利用税交付金	101,211	0.2	101,211	0.6	固定資産税	6,039,163	45.2
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	6,028,397	45.1
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	244,097	1.8
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	610,753	4.6
自動車税環境性能割交付金	38,676	0.1	38,676	0.2	鉱産税	-	-
法人事業税交付金	89,620	0.2	89,620	0.5	特別土地保有税	-	-
地方特例交付金	120,013	0.3	120,013	0.7	法定外普通税	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	90,702	0.2	90,702	0.5	目的税	630,740	4.7
自動車税減収補填特例交付金	19,653	0.0	19,653	0.1	法定目的税	630,740	4.7
軽自動車税減収補填特例交付金	9,658	0.0	9,658	0.1	入湯税	-	-
地方交付税	2,112,813	4.8	1,756,954	10.2	事業所税	-	-
普通交付税	1,756,954	4.0	1,756,954	10.2	都市計画税	630,740	4.7
特別交付税	355,418	0.8	-	-	水利地益税等	-	-
震災復興特別交付税	441	0.0	-	-	法定外目的税	-	-
(一般財源計)	18,163,850	41.1	17,177,251	99.3	旧法による税	-	-
交通安全対策特別交付金	12,702	0.0	12,702	0.1	合計	13,370,361	100.0
分担金・負担金	114,815	0.3	-	-			
使用料	244,735	0.6	52,203	0.3			
手数料	253,104	0.6	-	-			
国庫支出金	16,330,977	37.0	-	-			
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	2,755,617	6.2	-	-			
財産収入	178,125	0.4	36,012	0.2			
寄附金	15,080	0.0	-	-			
繰入金	1,109,804	2.5	-	-			
繰越金	1,244,167	2.8	-	-			
諸収入	493,486	1.1	11,517	0.1			
地方債	3,252,914	7.4	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち猶予特例債	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	1,070,147	2.4	-	-			
歳入合計	44,169,376	100.0	17,289,685	100.0			

区分	令和2年度	令和元年度
徴収率 現・計 (%)		
合計	99.1	98.1
市町村民税	98.8	97.6
純固定資産税	99.2	98.5

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,643,350	実質収支	348,749
病院	535,354	再差引収支	333,009
下水道	400,000	加入世帯数(世帯)	13,547
介護サービス	87,008	被保険者数(人)	20,789
宅地造成	20,000	被保険者	91
国民健康保険	543,607	1人当り	1
その他	2,057,381	保険税(料)収入額	304
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳入の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳入の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	257,636	0.6	803	257,636	
総務費	13,676,774	32.1	110,309	4,237,885	
民生費	13,136,349	30.8	121,311	6,252,831	
衛生費	2,995,304	7.0	169,669	2,130,273	
労働費	62,985	0.1	-	62,985	
農林水産業費	654,018	1.5	38,183	259,348	
商工費	529,257	1.2	-	523,957	
土木費	3,830,311	9.0	2,321,336	1,610,414	
消防費	1,496,682	3.5	216,212	1,275,224	
教育費	3,362,867	7.9	372,477	2,386,288	
災害復旧費	234,317	0.5	-	73	
公債費	2,390,581	5.6	-	2,375,195	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	42,627,081	100.0	3,350,300	21,372,109	

性質別歳入の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	15,819,824	37.1	9,315,391	9,261,156	50.4
人件費	4,925,245	11.6	4,511,381	4,489,656	24.5
うち職員給	3,217,710	7.5	2,896,725	-	-
扶助費	8,504,000	19.9	2,428,817	2,396,307	13.1
公債費	2,390,579	5.6	2,375,193	2,375,193	12.9
元利償還金	2,390,579	5.6	2,375,193	2,375,193	12.9
内訳					
うち元金	2,255,438	5.3	2,241,606	2,241,606	12.2
うち利子	135,141	0.3	133,587	133,587	0.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	23,222,640	54.5	11,688,564	8,008,978	43.6
物件費	5,592,433	13.1	4,141,231	3,401,268	18.5
維持補修費	301,601	0.7	301,063	301,063	1.6
補助費等	13,076,415	30.7	3,458,727	2,153,927	11.7
うち一部事務組合負担金	1,181,799	2.8	1,181,799	1,181,799	6.4
繰出金	2,697,632	6.3	2,250,230	2,152,720	11.7
積立金	1,426,906	3.3	1,419,560	-	-
投資・出資金・貸付金	127,653	0.3	117,753	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,584,617	8.4	368,154	-	-
うち人件費	197,575	0.5	197,575	-	-
普通建設事業費	3,350,300	7.9	368,081	-	-
うち補助	1,728,656	4.1	20,528	-	-
うち単独	1,574,196	3.7	347,518	-	-
災害復旧事業費	234,317	0.5	73	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	42,627,081	100.0	21,372,109	-	-

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和2年度 埼玉県東松山市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	44,198	42,656	1,542	1,453	1,110	28,416	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
29							

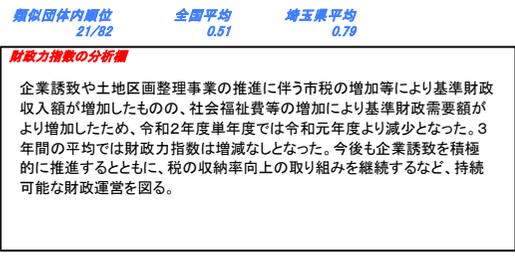
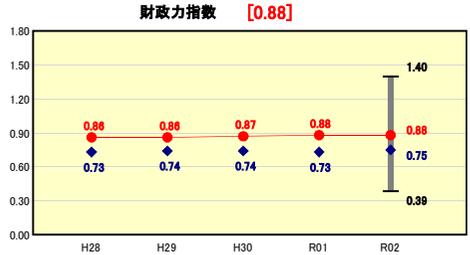
### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	90,456人 (R3.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	87,726人 (R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	65.35km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.8 %
歳入総額	44,169,376千円	将来負担比率	24.2 %
歳出総額	42,627,081千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2
実質収支	1,462,938千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2
標準財政規模	18,351,734千円		
地方債現在高	27,968,957千円		

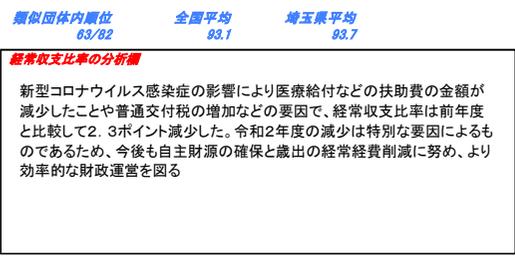
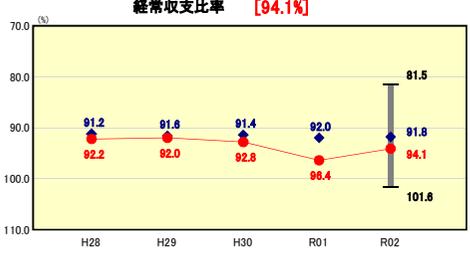


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

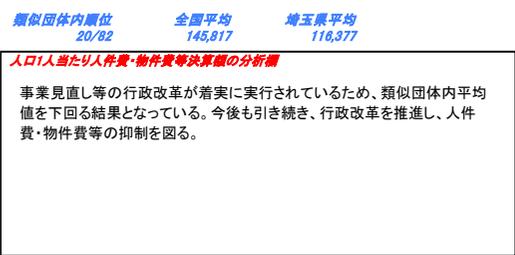
#### 財政力



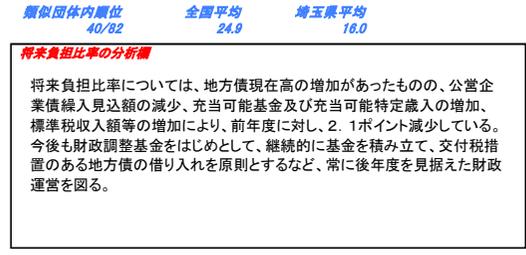
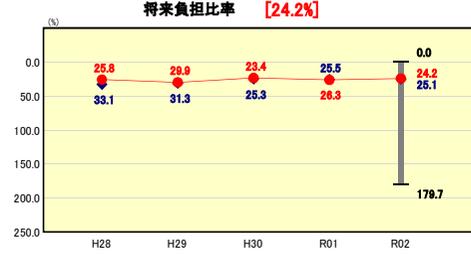
#### 財政構造の弾力性



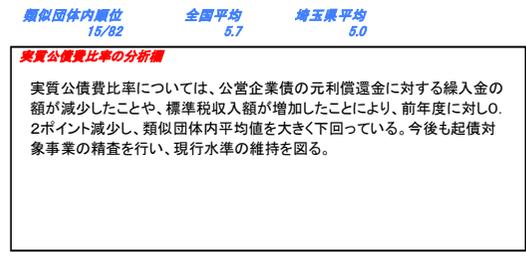
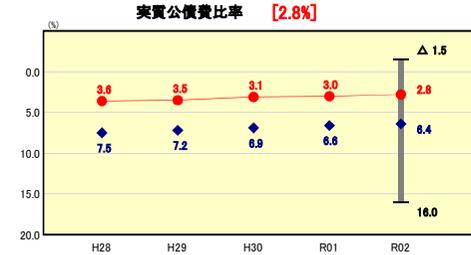
#### 人件費・物件費等の状況



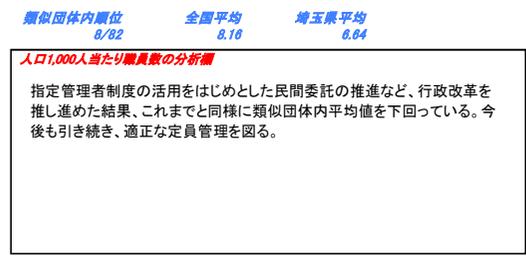
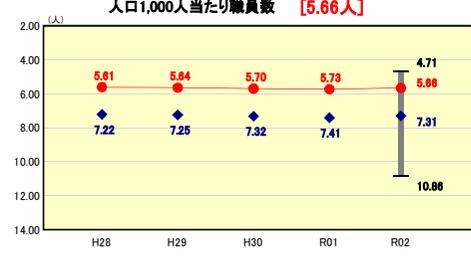
#### 将来負担の状況



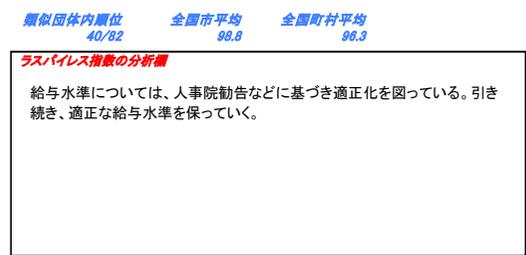
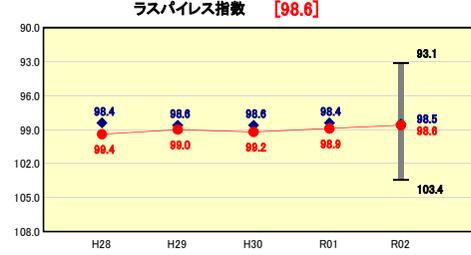
#### 公債費負担の状況



#### 定員管理の状況



#### 給与水準 (国との比較)



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

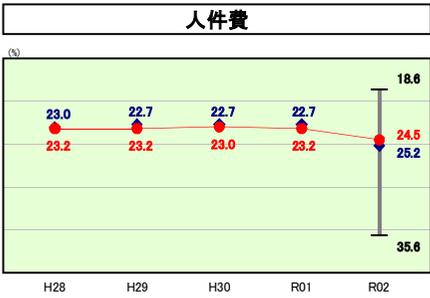
埼玉県東松山市

## 経常収支比率の分析

人口	90,466	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	87,726	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	65.35	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.8	%
歳入総額	44,169,376	千円	将来負担比率	24.2	%
歳出総額	42,627,081	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
実質収支	1,452,938	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	18,351,734	千円			
地方債現在高	27,958,957	千円			

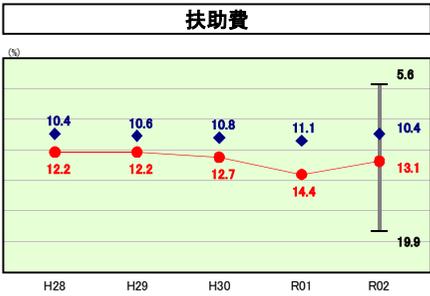
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



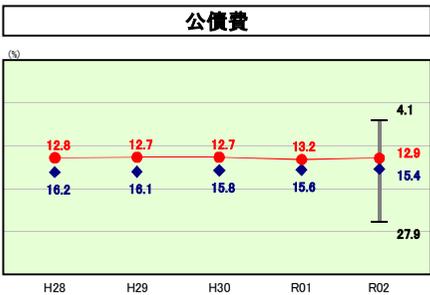
**類似団体内順位** 33/82 **全国平均** 26.8 **埼玉県平均** 26.2

**人件費の分析欄**  
指定管理者制度の活用をはじめとした民間委託の推進など、行政改革を推し進めた結果、財政比較分析表における定数管理状況において、他団体に比して人口千人当たりの職員数が少なくなっているため、全国平均値、埼玉県平均値を下回っている。今後も適正な定員管理や給与水準の維持を図る。



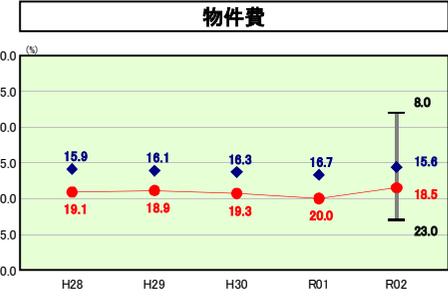
**類似団体内順位** 73/82 **全国平均** 12.4 **埼玉県平均** 13.1

**扶助費の分析欄**  
新型コロナウイルス感染症の影響により医療給付などの減少があり、令和2年度は減少となった。しかし、社会情勢の変化の影響により、生活保護受給者数や障害福祉サービス費、児童福祉に係る扶助委託が増加しており、扶助費は増加傾向にある。今後も就労支援や適正な資格審査等の実施など、扶助費の適正な水準の確保を図る。



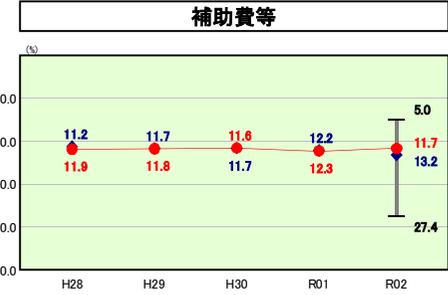
**類似団体内順位** 25/82 **全国平均** 18.3 **埼玉県平均** 14.5

**公債費の分析欄**  
ここ数年と同様類似団体内平均値を下回っている。起債対象事業の精査により、償還が多額とならないようにしており、今後も適正な水準の維持を図る。



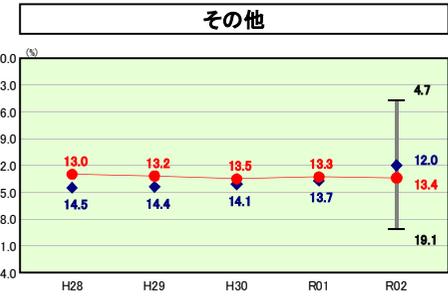
**類似団体内順位** 64/82 **全国平均** 14.3 **埼玉県平均** 18.2

**物件費の分析欄**  
ここ数年と同様、類似団体内平均値を上回る結果となっているが、指定管理者制度の活用など民間委託を積極的に推し進めた結果、職員人件費等から委託料(物件費)へのシフトが影響しているためであり、今後も適正な水準の確保を図る。



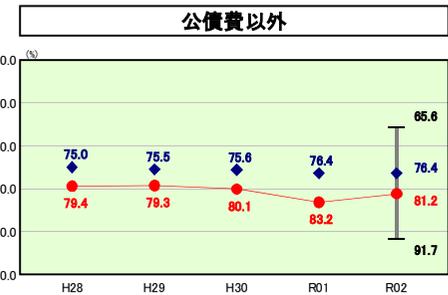
**類似団体内順位** 33/82 **全国平均** 10.7 **埼玉県平均** 10.1

**補助費等の分析欄**  
令和2年度は類似団体内平均値を下回る結果となった。これは、補助金等の制度変更や見直しによるものである。今後も補助金等の見直し作業を進め、更なる適正化を図る。



**類似団体内順位** 58/82 **全国平均** 12.6 **埼玉県平均** 11.6

**その他の分析欄**  
公共施設の老朽化による維持補修費の増加により、前年度と比較して0.1ポイント増加し、類似団体内平均値を上回る結果となっている。今後も経常経費の削減に努め、より効率的な財政運営を図る。



**類似団体内順位** 66/82 **全国平均** 76.8 **埼玉県平均** 79.2

**公債費以外の分析欄**  
ここ数年と同様、類似団体内平均値を上回っている。これは、公債費について起債対象事業の精査により多額とならないよう努めていることにより経常収支比率における公債費の割合が低くなっているためであり、今後も適正な水準の確保を図る。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

埼玉県東松山市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,925,245	54,449	70,597	▲ 22.9
一部事務組合負担金(補助費等)	628,271	6,946	6,273	10.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	294,598	3,257	1,314	147.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	222,879	2,464	2,424	1.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	197,575	2,184	1,774	23.1
▲退職金	▲ 331,529	▲ 3,665	▲ 4,858	▲ 24.6
合計	5,937,039	65,635	77,526	▲ 15.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.66	7.31	▲ 1.65
ラスパイレス指数	98.6	98.5	0.1

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

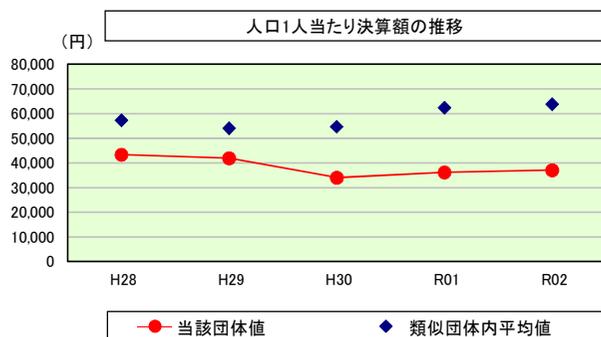


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,449,561	27,080	38,968	▲ 30.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	58	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	254,312	2,811	12,321	▲ 77.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	55,450	613	1,771	▲ 65.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	588	-
一時借入金利息 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 489,547	▲ 5,412	▲ 5,205	4.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,819,137	▲ 20,111	▲ 35,431	▲ 43.2
合計	450,639	4,982	13,072	▲ 61.9

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H28	3,900,833	43,365	▲ 0.5	57,295	21.2	▲ 21.7
うち単独分	2,387,952	26,547	▲ 9.6	32,771	36.0	▲ 45.6
H29	3,783,624	41,953	▲ 3.3	54,110	▲ 5.6	2.3
うち単独分	1,916,011	21,245	▲ 20.0	30,620	▲ 6.6	▲ 13.4
H30	3,074,619	34,053	▲ 18.8	54,684	1.1	▲ 19.9
うち単独分	1,627,161	18,021	▲ 15.2	32,829	7.2	▲ 22.4
R01	3,270,090	36,194	6.3	62,383	14.1	▲ 7.8
うち単独分	1,770,744	19,599	8.8	35,325	7.6	1.2
R02	3,350,300	37,038	2.3	63,812	2.3	0.0
うち単独分	1,574,196	17,403	▲ 11.2	33,848	▲ 4.2	▲ 7.0
過去5年間平均	3,475,893	39,521	▲ 2.8	58,457	6.6	▲ 9.4
うち単独分	1,855,213	20,563	▲ 9.4	33,079	8.0	▲ 17.4

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

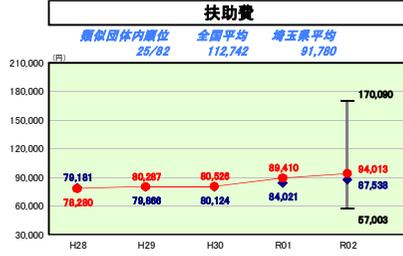
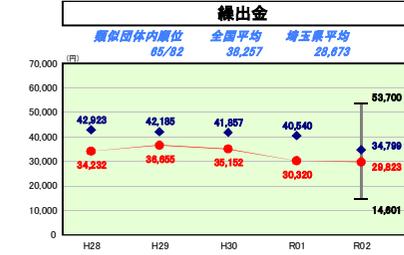
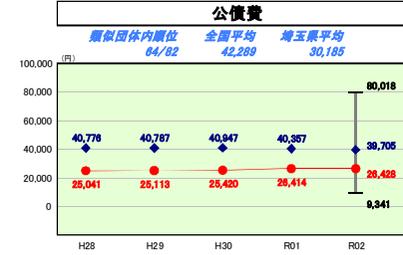
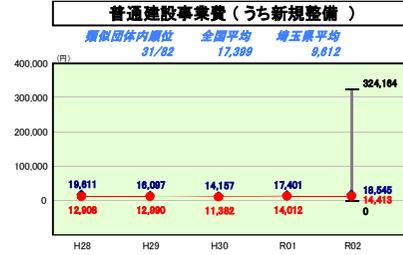
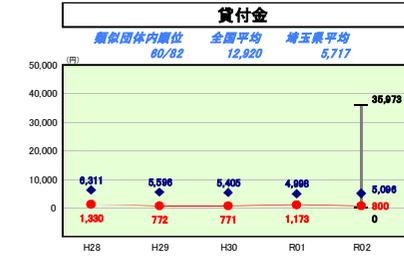
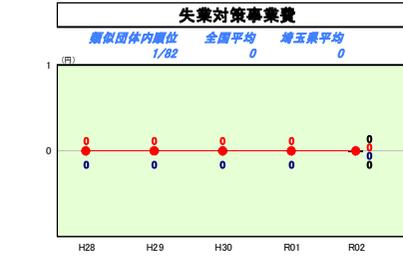
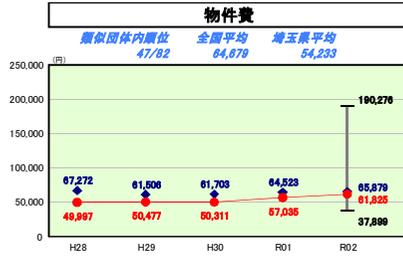
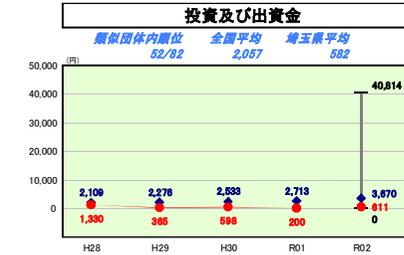
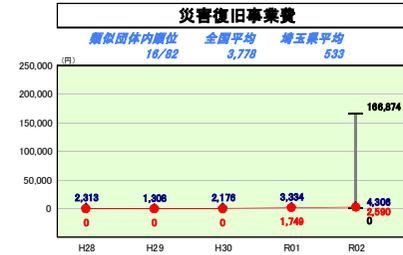
令和2年度

埼玉県東松山市

人口	90,456人(第3.1.1項在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	87,720人(第3.1.1項在)	通算実質赤字比率	-	%
職	65,355人	実質公債費比率	2.8	%
歳入総額	44,189,376千円	将来負担比率	24.2	%
歳出総額	42,627,061千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
実質収支	1,452,938千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	18,351,734千円			
地方債現在高	27,958,957千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

- ・人件費は、住民一人当たり54,449円となっており、類似団体と比較して低い状況となっている。これは、指定管理者制度をはじめとした民間委託の推進など、徹底した行政改革を推し進めた結果によるものである。
- ・扶助費は、住民一人当たり94,013円となっており、類似団体と比較して高い状況となっている。社会情勢の変化の影響により、生活保護受給者や障害福祉サービス費等の増加傾向が続いているもので、就労支援や適正な資格審査等の実施など、扶助費の適正な水準の確保を図る。
- ・公債費は、住民一人当たり26,428円となっており、類似団体と比較して低い状況となっている。これは、起債対象事業の精査により元利償還金の額が多額とならないよう努めていることによるものである。
- ・補助費等は、住民一人当たり144,561円となっており、前年度と比較して大きく増加している。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別定額給付金の給付によるものである。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和2年度

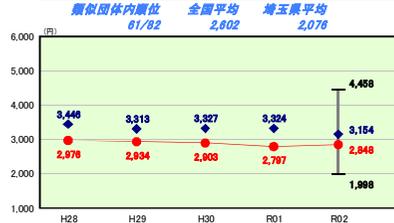
埼玉県東松山市

人口	90,456人(03.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	87,720人(03.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%	
職員	65.35千人	実質公債費比率	2.8	%	
歳入総額	44,189,376千円	実質負担比率	24.2	%	
歳出総額	42,627,061千円	市町村類型	H29 II-2	H29 II-2	H30 II-2
実質収支	1,452,938千円	(年度毎)	R01 II-2	R02 II-2	
標準財政規模	18,351,734千円				
地方債現在高	27,958,957千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

**議会費**



**労働費**



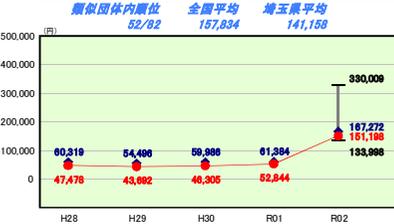
**消防費**



**諸支出金**



**総務費**



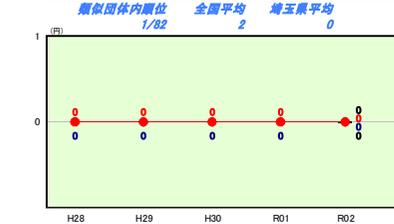
**農林水産業費**



**教育費**



**前年度繰上充用金**



**民生費**



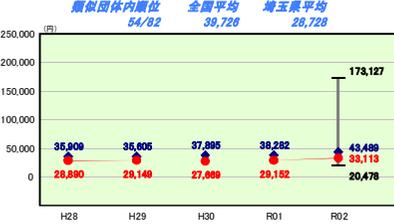
**商工費**



**災害復旧費**



**衛生費**



**土木費**



**公債費**



**目的別歳出の分析圖**

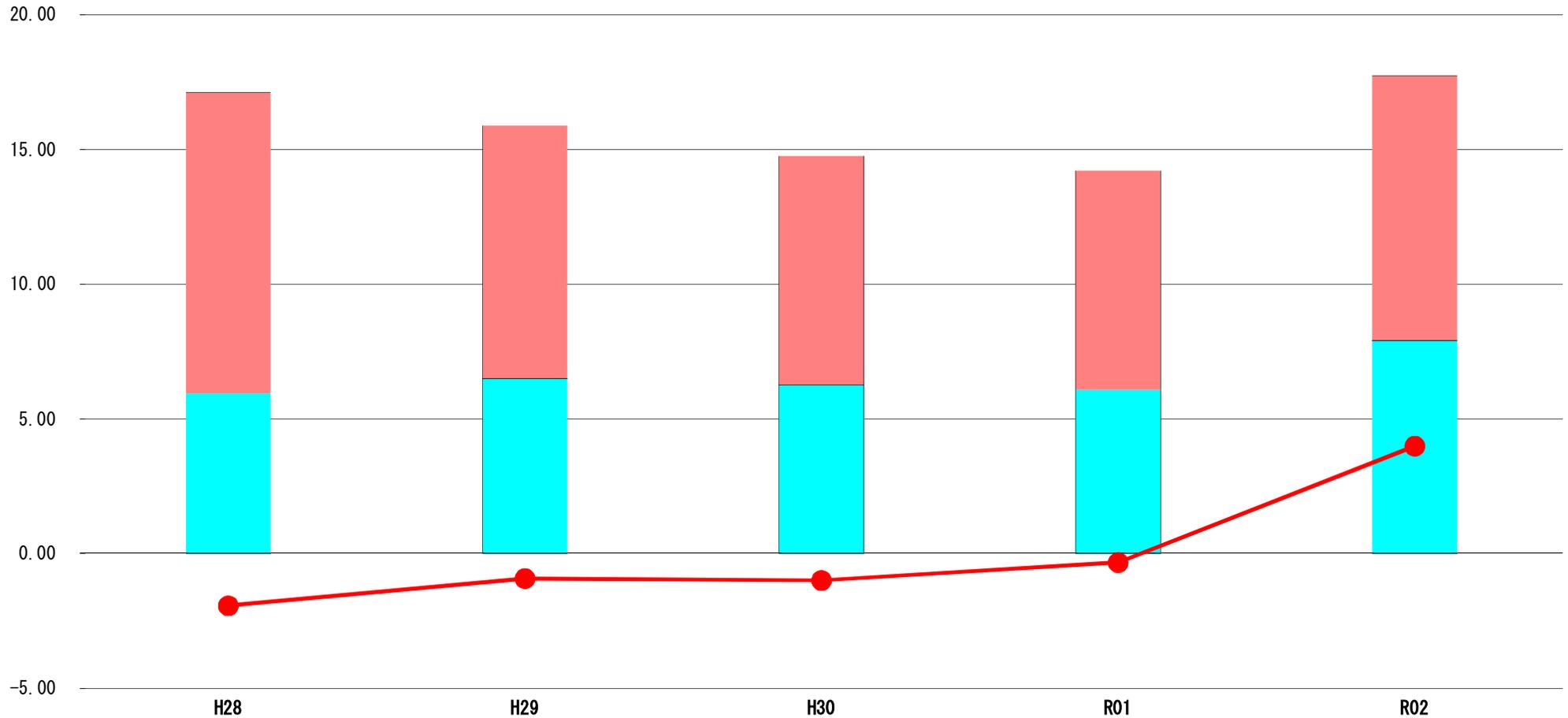
- ・民生費は、住民一人当たり145,224円となっており、前年度に比べ減少したものの、増加傾向であり、類似団体と比較して高い状況となった。これは、社会情勢の変化により、生活保護受給者の増加傾向が続き、障害福祉サービス費、児童福祉費も増加しているためである。
- ・土木費は、住民一人当たり42,344円となっており、前年度に比べ上昇したものの、類似団体と比較して低い状況となっている。これは、市道第12号線整備事業の減や事業の進捗による高坂駅東口第一土地区画整理事業特別会計への繰入金が減ったこと等によるものである。
- ・公債費は、住民一人当たり26,428円となっており、前年度に比べ上昇しているものの、依然として類似団体と比較して低い状況となっている。これは、起債対象事業の精査により元利償還金の額が多額とならないよう努めていることによるものである。
- ・総務費は、住民一人当たり151,198円となっており、前年度と比較して大きく増加している。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う特別定額給付金の給付によるものである。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和2年度

埼玉県東松山市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		11.18	9.39	8.51	8.14	9.82
 実質収支額		5.94	6.50	6.25	6.08	7.92
 実質単年度収支		▲ 1.93	▲ 0.92	▲ 1.00	▲ 0.33	3.99

### 分析欄

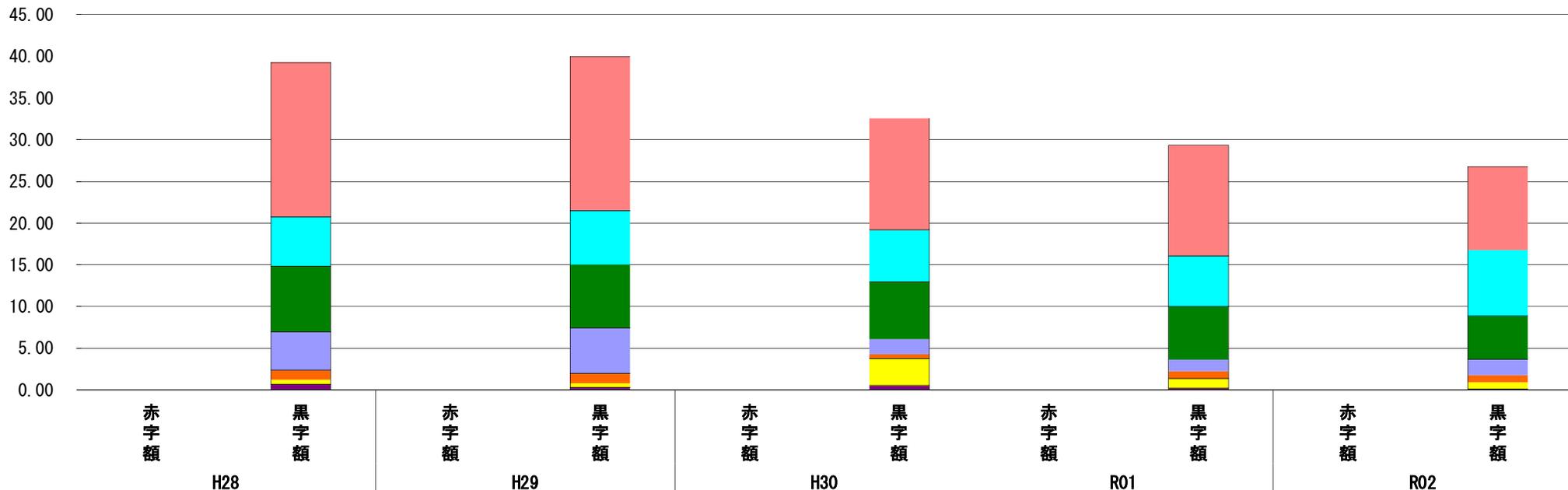
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業縮小などの影響で増加となった。財政調整基金への積み立てを継続的に行っているが、財政調整基金の残高は減少傾向であり、平成28年度以降において、年度末残高が20億円を下回っている。  
 今後も財政調整基金への積み立てを継続的に行うとともに、経常経費の削減により残高水準の適正化、実質収支額の改善を図る。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和2年度

埼玉県東松山市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度					
	H28	H29	H30	R01	R02	
水道事業会計	18.47	18.47	13.35	13.24	9.97	
一般会計	5.93	6.49	6.24	6.08	7.91	
病院事業会計	7.88	7.58	6.87	6.39	5.21	
国民健康保険特別会計	4.59	5.44	1.80	1.38	1.90	
介護保険特別会計	1.16	1.19	0.51	0.89	0.86	
下水道事業特別会計	0.56	0.49	3.28	1.10	0.79	
高坂駅東口第一土地区画整理事業特別会計	0.65	0.29	0.49	0.24	0.11	
後期高齢者医療特別会計	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-	
その他会計（黒字）	-	-	-	-	-	

## 分析欄

各連結対象会計における赤字額は皆無であり、全て黒字にて推移している。  
今後も各連結対象会計の黒字の維持を図る。

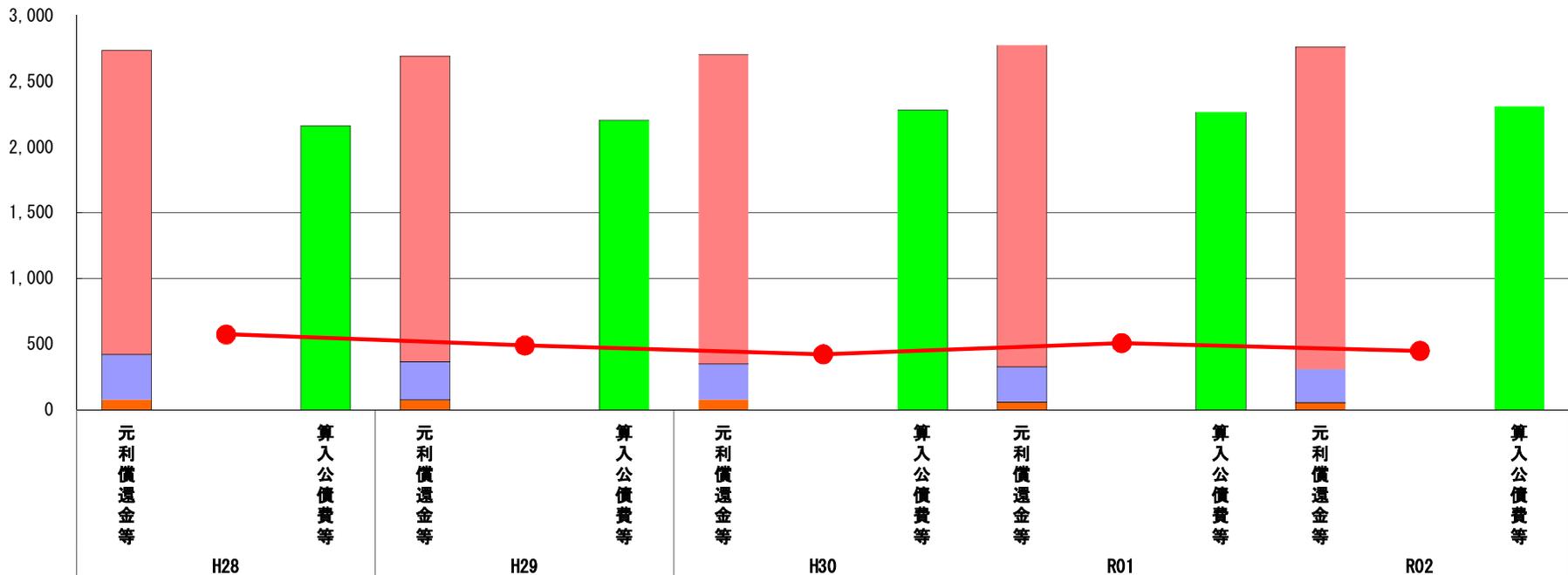
※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

埼玉県東松山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,312	2,324	2,354	2,445	2,450
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		344	292	271	268	254
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		78	76	78	60	55
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,159	2,203	2,280	2,266	2,309
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		575	489	423	507	450

分析欄

実質公債費比率に係る分子の値は、前年度と比較し、減少している。これは公営企業債の元利償還金に対する繰入金の額が減少したこと等によるものである。今後も交付税措置のある地方債の借入れを原則とするとともに起債対象事業費を精査し、新規地方債の発行を抑制するなど、実質公債費比率に係る分子の値の減少を図る。

※1 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

※2 減債基金積立状況等		年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
減債基金積立状況等	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄

満期一括償還に係る積立なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

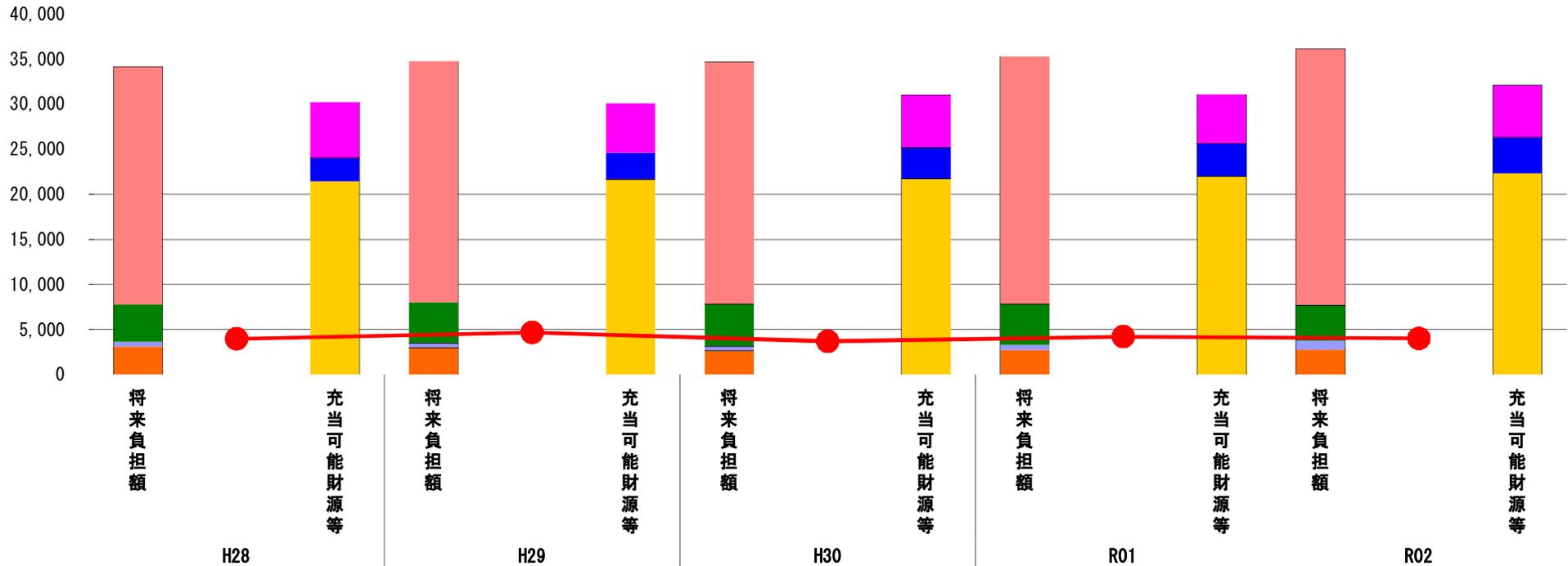
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

埼玉県東松山市

(百万円)



(百万円)

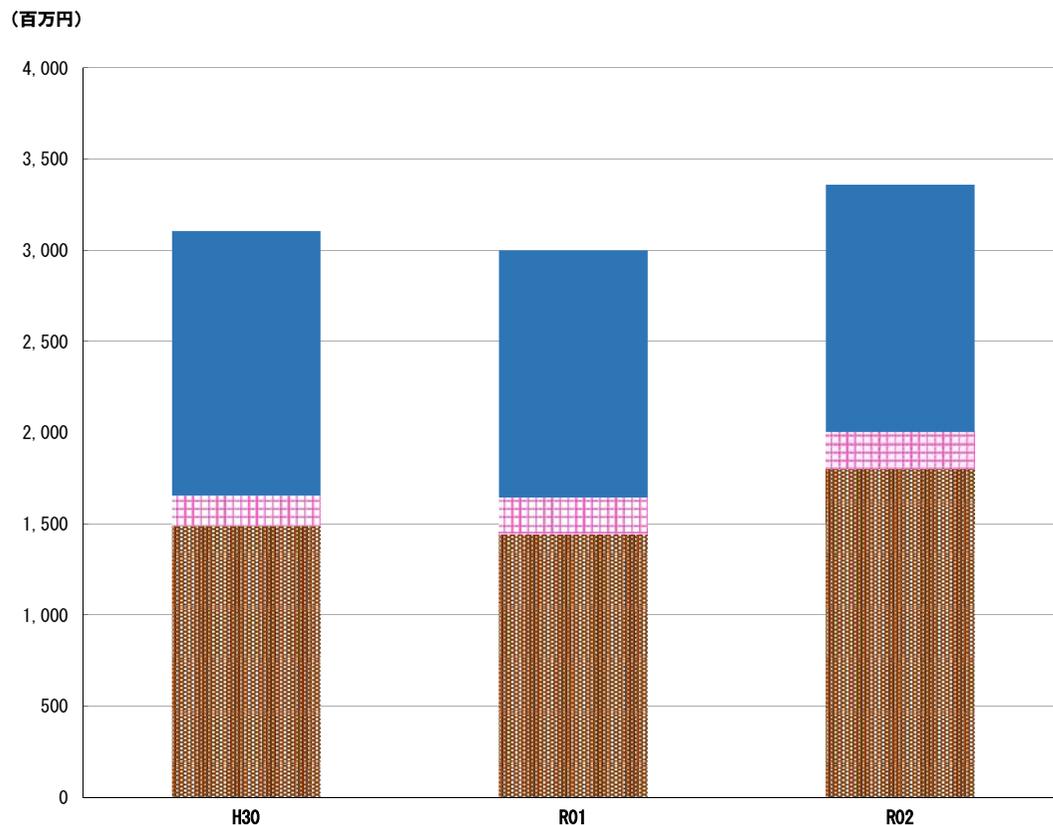
分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		26,384	26,726	26,896	27,476	28,416
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		4,145	4,512	4,649	4,489	3,971
	組合等負担等見込額		539	535	471	601	968
	退職手当負担見込額		3,086	2,963	2,665	2,694	2,755
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,186	5,482	5,859	5,444	5,787
	充当可能特定歳入		2,601	2,951	3,430	3,638	3,996
	基準財政需要額算入見込額		21,418	21,649	21,707	21,980	22,316
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,949	4,653	3,684	4,200	4,012

## 分析欄

将来負担比率に係る分子の値は、前年度と比較し、減少している。  
 これは、地方債現在高の増加があったものの、公営企業債等繰入見込額の減少や充当可能基金及び充当可能特定歳入の増加によるものである。  
 今後も地方債現在高の減少に努めるなど、より適正化を図る。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H30	R01	R02
財政調整基金		1,488	1,443	1,802
減債基金		166	201	201
その他特定目的基金		1,450	1,355	1,355
都市施設整備基金		572	572	572
教育施設整備基金		422	359	350
緑豊かな環境まちづくり基金		143	120	110
商業振興基金		109	109	109
ノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金		47	60	78
<b>基金残高合計</b>		<b>3,104</b>	<b>3,000</b>	<b>3,359</b>

令和2年度

埼玉県東松山市

## 基金全体

(増減理由)

不足する財源を補うため基金を取り崩したものの、財政調整基金への積立を行ったことにより、基金残高は、前年度に比べ3億5,900万円の増加となった。

(今後の方針)

毎年度の当初予算における財源不足額をおおむね実質収支の範囲内に収め、収支均衡予算を継続することにより、基金残高の適正な水準の維持を図る。

## 財政調整基金

(増減理由)

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業縮小などの影響で積立額が取崩しを上回ったため増加となった。

(今後の方針)

財政調整基金の残高が標準財政規模の10%の水準を上回るよう、経常経費の縮減などに取り組む。

## 減債基金

(増減理由)

令和2年度は増減なし。

(今後の方針)

今後の償還に備え、継続的な積み立てを行い、基金残高の適正な水準の維持を図る。

## その他特定目的基金

(基金の用途)

都市施設整備基金：市街化区域内の都市施設の整備の財源に充てる。  
教育施設整備基金：教育施設の改修又は増設の費用に充てる。

(増減理由)

ノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金は寄附金の積立により増加した。  
緑豊かな環境まちづくり基金は地球温暖化対策事業等の財源に充て減少した。

(今後の方針)

今後の財政状況等を勘案し、計画的な積立や取崩しを行うことにより、残高の適正な水準の維持を図る。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

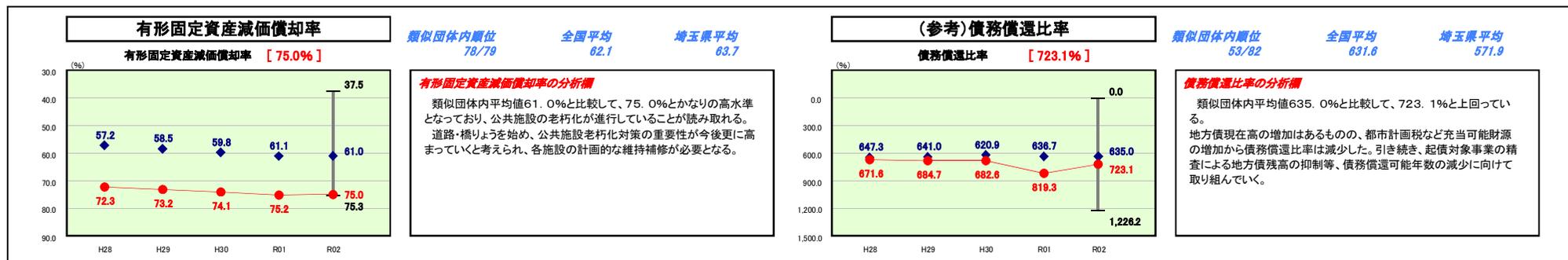
令和2年度

埼玉県東松山市

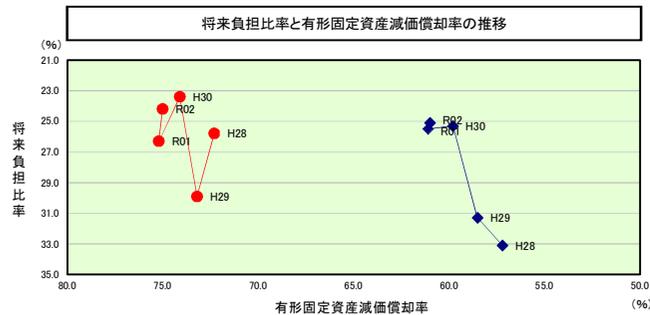
人口	90,456	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	87,726	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	65.35	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.8	%
歳入総額	44,169,376	千円	将来負担比率	24.2	%
歳出総額	42,627,081	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
実質収支	1,452,938	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	18,351,734	千円			
地方債現在高	27,958,957	千円			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



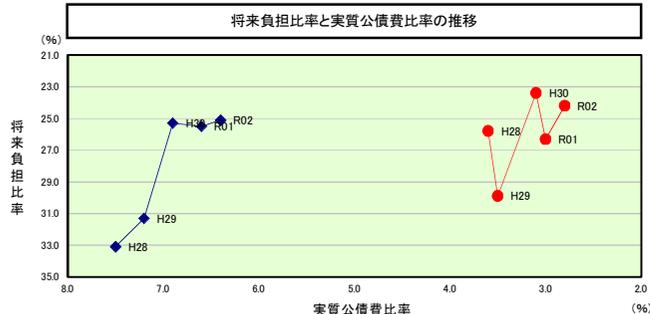
### 分析欄

将来負担比率は、類似団体内平均値を下回っている。地方債残高が増加する一方で充当可能基金が減少していることにより年々上昇傾向にあったが令和元年度は地方債残高の割合が大きく上昇した一方で令和2年度については標準税収入額等の増加により減少した。有形固定資産減価償却率がかなりの高水準であり、公共施設老朽化対策の重要性が今後さらに高まると考えられることから、将来負担比率も上昇が見込まれるが、継続的な基金への積み立てや公債費の適正化に取り組み、現行水準の維持を図る。

### (参考)

		H28	H29	H30	R01	R02
当該団体値	将来負担比率	25.8	29.9	23.4	26.3	24.2
	有形固定資産減価償却率	72.3	73.2	74.1	75.2	75.0
類似団体内平均値	将来負担比率	33.1	31.3	25.3	25.5	25.1
	有形固定資産減価償却率	57.2	58.5	59.8	61.1	61.0

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



### 分析欄

将来負担比率及び実質公債費比率は、ともに類似団体内平均値を下回っている。将来負担比率は前年度に対し2.1ポイント減少した。これは、標準税収入額等が増加したことによるものである。実質公債費比率は前年度に対し0.2ポイント減少した。これも同様に、標準税収入額が増加したことによるもので、類似団体内平均値を大きく下回っている。しかしながら、地方債残高の増加に伴い、今後はどちらの指標も上昇していくことが考えられるため、継続的な基金の積み立てや公債費の適正化に取り組み、現行水準の維持を図る。

### (参考)

		H28	H29	H30	R01	R02
当該団体値	将来負担比率	25.8	29.9	23.4	26.3	24.2
	実質公債費比率	3.6	3.5	3.1	3.0	2.8
類似団体内平均値	将来負担比率	33.1	31.3	25.3	25.5	25.1
	実質公債費比率	7.5	7.2	6.9	6.6	6.4

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

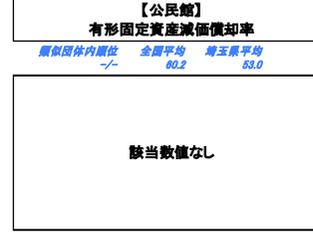
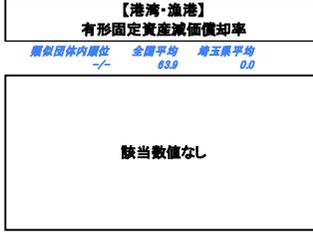
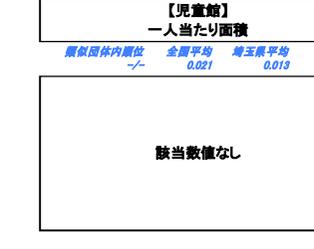
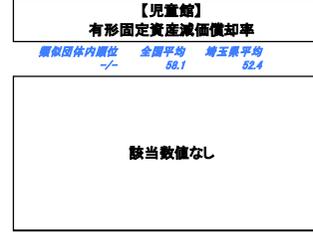
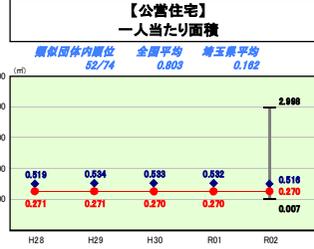
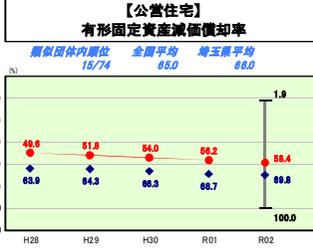
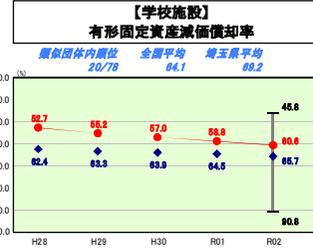
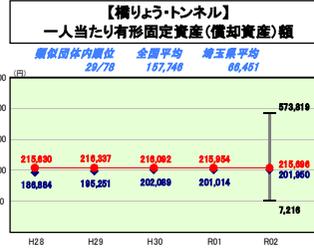
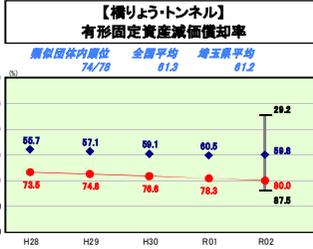
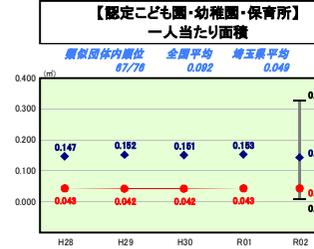
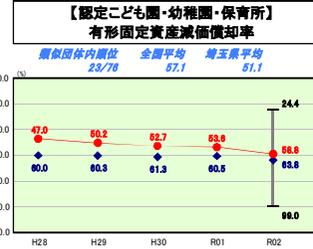
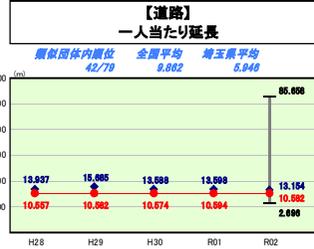
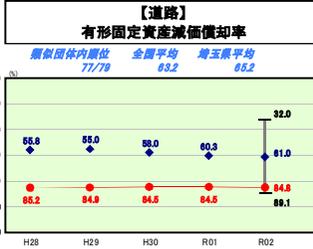
令和2年度

埼玉県東松山市

人口	90,456人(03.1.1現在)	実収率	比率	-%
うち日本人	87,728人(03.1.1現在)	運輸実収率	比率	-%
面積	65.35km <sup>2</sup>	実収率	公費比率	2.8%
入籍者数	44,189,376千円	資本負担率	比率	24.2%
歳入総額	42,627,081千円	市町村別型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
歳出総額	1,452,938千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
実収支	15,351,734千円			
標準財政規模	27,959,957千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



**施設情報の分析**  
 有形固定資産減価償却率は道路・橋りょうについては類似団体内平均値を上回っている。  
 人口一人当たりの面積等は、橋りょう・学校施設については類似団体内平均値を上回っている。  
 道路・橋りょうの有形固定資産減価償却率は、かなりの高水準となっており、老朽化対策の必要性が高い施設であることが読み取れる。  
 また、その他の施設についても、個別施設計画を策定し、適正な管理、計画的な維持補修を行い長寿命化を図る。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

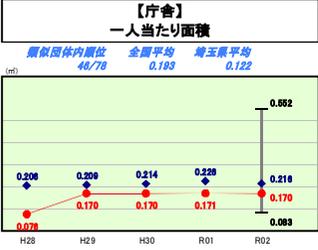
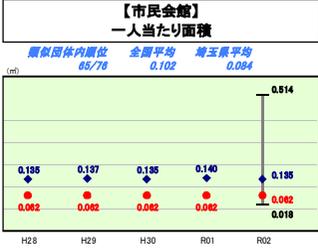
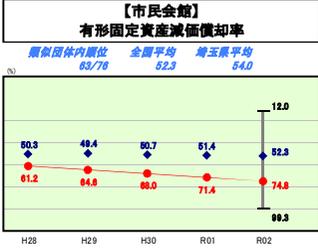
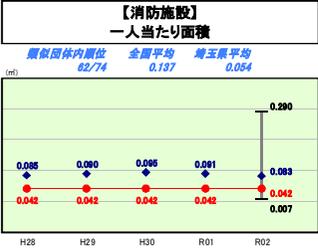
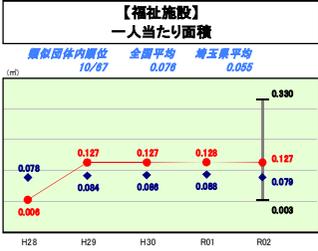
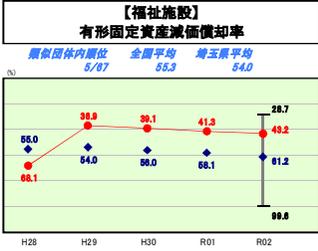
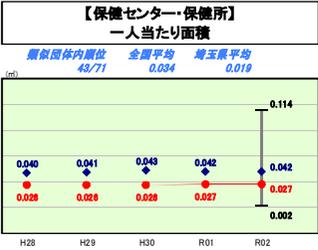
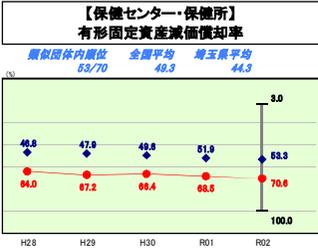
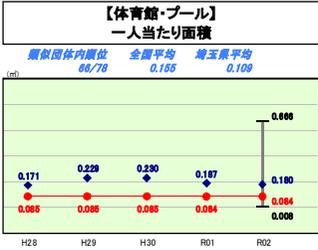
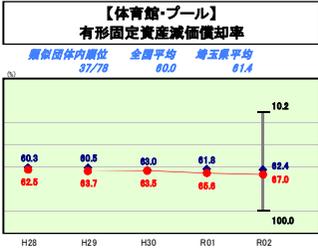
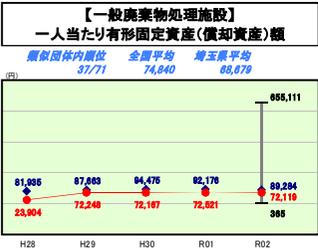
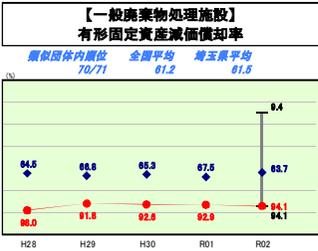
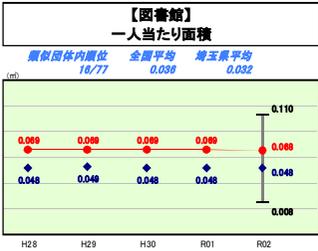
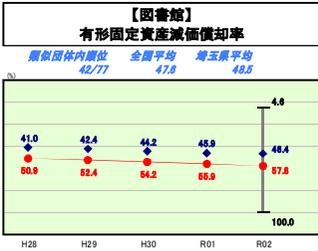
令和2年度

埼玉県東松山市

人口	90,456人(03.1.1現在)	実収率	比率	-	%
うち日本人	87,728人(03.1.1現在)	運輸実収率	比率	-	%
面積	65.35km <sup>2</sup>	実収率	比率	2.8	%
人口密度	44,169.376人/km <sup>2</sup>	資本負担率	比率	24.2	%
歳入総額	42,627,081千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2		
歳出総額	1,452,938千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2		
実収支	15,351,734千円				
標準財政規模	27,959,957千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、埼玉県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



**施設情報の分析**  
 有形固定資産減価却率は、福祉施設を除き、類似団体内平均値を上回っている。このうち、一般廃棄物処理施設については、94.1%とかなりの高水準となっており、計画的な維持補修を行いながら長寿命化を図る必要がある。庁舎については耐震改修済みであるが、その他の施設についても今後適正な管理を行っている。